

Mizuho Daily Market Report

2025/1/10

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	158.18	158.14	▲0.21	+0.64
EUR	1.0293	1.0300	▲0.0018	+0.0035
AUD	0.6183	0.6196	▲0.0020	▲0.0007
SGD	1.3707	1.3683	+0.0004	▲0.0022
CNY	7.3318	7.3321	+0.0004	+0.0327
MYR	4.5080	4.5027	▲0.0003	+0.0244
THB	34.70	34.63	+0.01	+0.35
IDR	16216	16200	+5	+5
PHP	58.48	58.50	+0.10	+0.59
INR	85.91	85.86	+0.01	+0.11
VND	25387	25382	+2	▲75

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.689%	+0.0 bp	+13.0 bp
日本(10年)	1.184%	+0.6 bp	+8.3 bp
ユーロ圏(10年)	2.567%	+1.8 bp	+18.8 bp
オーストラリア(5年)	4.071%	▲1.7 bp	+9.3 bp
シンガポール(5年)	2.828%	▲1.2 bp	+9.0 bp
中国(5年)	1.419%	+4.9 bp	+4.0 bp
マレーシア(5年)	3.614%	+0.1 bp	▲0.6 bp
タイ(5年)	2.091%	▲0.4 bp	+3.1 bp
インドネシア(5年)	7.114%	+1.6 bp	+8.7 bp
フィリピン(5年)	5.943%	+0.0 bp	▲4.2 bp
インド(5年)	6.717%	+0.0 bp	▲1.2 bp
ベトナム(5年)	2.450%	+0.0 bp	+1.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	42,635.20	+0.0%	+0.6%
N225(日本)	39,605.09	▲0.9%	▲0.7%
STOXX50(ユーロ圏)	5,017.91	+0.4%	+2.0%
ASX(オーストラリア)	4,517.93	+0.8%	+0.2%
FTSTI(シンガポール)	3,862.60	▲0.6%	+1.6%
SSEC(中国)	3,211.39	▲0.6%	▲1.6%
SENSEX(インド)	77,620.21	▲0.7%	▲2.9%
JKSE(インドネシア)	7,064.59	▲0.2%	▲1.4%
KLSE(マレーシア)	1,600.81	▲0.9%	▲2.0%
PSE(フィリピン)	6,511.57	+0.2%	▲0.6%
SETI(タイ)	1,362.97	▲1.8%	▲1.2%
VNINDEX(ベトナム)	1,245.77	▲0.4%	▲1.9%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	297.39	+0.0%	▲0.5%
金	2,667.25	+0.2%	+0.4%
原油(WTI)	73.92	+0.8%	+1.1%
銅	8,971.57	+0.6%	+3.2%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	156.60	—	158.80
EUR/USD	1.0220	—	1.0400
AUD/USD	0.6085	—	0.6380
USD/SGD	1.3630	—	1.3750
USD/CNY	7.3060	—	7.3590
USD/INR	4.4100	—	4.5730
USD/THB	33.40	—	35.15
USD/IDR	15950	—	16300
USD/PHP	57.75	—	59.20
USD/INR	84.80	—	86.10
USD/VND	24,100	—	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel. 65-6805-4100

【為替】

アジア時間のドル円は158円台前半でオープン。オープン前に発表された本邦11月毎月勤労統計が予想を上回ったことでドル円相場は下落していたが、東京仲値にかけてはドル買い優勢となり下落幅を縮小。その後は実需のドル売りフローもあって軟調に推移し、157円台後半まで下押し。日銀が公表した「地域経済報告」は1月会合での利上げを後押しするほどの内容ではなく、市場は円売りで反応。結局、158円台前半で海外時間に渡った。アジア通貨はまちまち。トランプ次期米大統領の政策がインフレを加速させ、利下げを遅らせる可能性への懸念が重しとなっている。

海外市場のドル円は157円台後半でNYオープン。特段注目の米経済指標の発表を予定していない中、低下していた米金利の再上昇を受け買い戻しの展開となり、158円台を回復。午後はカーター元米大統領の国葬を控える中、158円台前半で動意乏しい推移が続き、そのままの水準でクロースした。

【金利】

前営業日の米金利は、一時低下するも引けにかけて戻す展開。NY朝時点で4.64%台まで低下していた米10年債利回りは、各連銀総裁のコメントを横目じりに上昇に転じ、4.67%台まで戻した。総じて新たな材料にはかけるものの、利下げペースの減速を正当化する恰好。NY午後に入ると、一段と米金利は上昇し、米10年債利回りは前日比横ばいの4.689%で引けた。

【予想】

本日のドル円は底堅い動きを予想。本日は米雇用統計を控えている。先日の、ADP雇用統計が市場予想を下回っていたことなどもあり、発表前はやや慎重な値動きが続くそう。とはいえ、それでも再び158円を挟んでの推移が続いており、ドル買い・円売りの地合いは根強いものがある。仮に、本日の雇用統計が市場予想を上回った場合には、再び159円台入りも視野に入るか。日銀の利上げ期待、FEDの利下げ期待がそれぞれ剥落が続ける中では、円安地合いは継続すると予想。

【本日の予定】

(日本) 11月 家計支出 / 景気動向指数(速)
(アジア) 11月 インド 鉱工業生産
(アジア) 11月 マレーシア 鉱工業生産 / 製造業基本売上高
(アジア) 4Q シンガポール GDP
(欧州) 11月 キリジャ 鉱工業生産 / 失業率
(欧州) 11月 仏 消費者支出 / 鉱工業生産 / 製造業生産
(欧州) 11月 独 経常収支
(米国) 12月 失業率 予想: 4.2% 前回: 4.2%
(米国) 12月 平均時給 予想: 0.3% 前回: 0.4%
(米国) 12月 非農業部門雇用者数変化 予想: 153k 前回: 227k
(米国) 1月 ミシガン大学消費者マインド(速)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。